



神出の樹

平成24年12月19日発行
県立神出学園
神戸市西区小束野30
078-965-1122

毎月1回、主な行事を中心に、神出学園の様子をみなさんにお知らせする学園通信「神出の樹」平成24年第7号をお届けします。

本当に早いもので、あと10日余りで2012年も幕を閉じようとしています。皆さんにとって、2012年はどういう年でしたか？自分の中で、頑張れたこと、頑張れなかったこと、楽しかったこと、苦しかったこと、悔しかったこと・・・。みんなそれぞれに、いろいろなことがあった一年だったと思います。

全てがうまくいく人生なんてないわけで、肝心なことは、この一年を自分自身の中でしっかりと振り返られるかどうかということだと思います。「一年の計は元旦にあり！」この1年の振り返りを大切にし、新しい年に向かって、小さなことでもいいですから自分の中での目標をたて、2013年の新しい年を迎えてくださいね。そして、1月7日には元気な顔をみせてください！

『1日体験旅行で、「海遊館」に行ってきました！』



11月28日（水）に1日体験旅行として、大阪の「海遊館」に行ってきました。

神出学園の仲間と、海遊館で海の生物の不思議さにふれ、普段は見れないバックヤードツアー、また、天保山マーケットプレース周辺での買い物を共に楽しみ、交流を深めることのできた素晴らしい1日でした。生

で見る大きなジンベイザメやマンタのゆったりとした泳ぎはいつまで見ていてもあきませんでした。また、天保山大観覧車にも乗ることができ、昼食は、大いに食べた「串カツの食べ放題」などで、学園生にとって、最高の思い出となる1日体験旅行になりました。

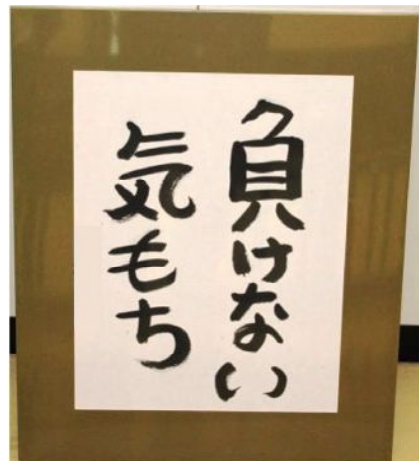


< 神出学園スタッフの「座右の銘」 >

日野 秀俊さん（教務スタッフ） 「負けない気持ち」

「私の座右の銘」というか、神出学園で生活しながら印象に残っている「ことば」について書かせていただきます。

「負けない気持ち」、この言葉は神出学園の生活実習室に飾ってある。修了生の書道の作品である。私はこの作品を初めて目にした時、この言葉が正直言ってしんどかった。負けてもいいやん。勝つことも大切かもしれない。けれど、たまには負けてもいいやん。負けて傷ついても、その傷を癒し、また再出発すればいい。そんなことを考えていた。しかし、スタッフとして働いていて、しんどくなったり、何かに負けそうになった時、この書に励まされることがある。私は、この書を書いた人はどんな気持ちで書いたんだろと思うようになってきた。先日、偶然にもこの書を書いた修了生の方とお話する機会があった。色々と心の中で葛藤し、苦しんだ。一人にして欲しかった時があった。誰かに話を聞いて欲しい時があった。一人になりたい時は、食堂の南のいすに座って色んなことを考えていたとのことであった。そんな時、書道プログラムで振り絞って書いたのが「負けない気持ち」だったそう。神出学園での二年間（ワンクッション）があったからこそ、今の自分がある。今仕事をしながら神出学園のことをよく思い出そう。くじけそうになった時、神出学園を思い出し、自分自身を励ますそう。



神出学園には様々な手作りがある。修了生・学園生が残してきた手作りのものがたくさんある。形にあるもの、形にないもの。自分と向き合いながら創り上げてきたものばかりである。いつまでもこの手作りの神出学園を大切にしていきたいと思います。

※次号は、陰山さんの予定です。 お楽しみに！